

『合併を超えて自治体自立へ』

東海地域の市町村合併・自立と道州制構想』

このたびカラフルな表紙の冊子を刊行した。山田公平名古屋大学名誉教授を座長に、私が事務局長を務める東海自治体問題研究所「市町村合併・自治体自立研究会」報告集1である。

とりあえず報告集の目次を示しておこう。

はじめに

自立のまちづくりを進める

三重県朝日町・田代兼二郎町長に聞く

東海3県の市町村合併

1 市町村合併の特徴と課題

2 2005年未合併自治体アンケート結果とその後
合併の現実と課題

1 日本一広い岐阜県新高山市の現状と課題

2 自治体合併における拡大志向と現状維持 企業城下町愛知県豊田市・刈谷市を比較して

3 愛知県豊田市の「企業型」・広域合併と都市内分権

4 住民生活からかけ離れた合併 - 愛知県愛西市

5 三重県津市の合併の3つの不思議

自治体自立の現実と課題

1 岐阜県白川村の自治と協働による村づくり

2 自立と共助のまちづくり愛知県大口町

自治体自立のための現状と課題

1 自治体財政の現状と課題

2 東海地域における地域自治組織の現状と課題

3 地域経済の自立 - 中山間地域の農業経営を事例に

4 地域から医療・福祉・介護施策を前進させるために 愛知自治体キャラバンの経験から
東海地域における道州制への動きと道州制構想の問題点



東海地域の「平成の大合併」を検証して、道州制構想の問題点をさぐるもので、タイムリーな出版であり、ぜひ一読してもらいたい。とりわけ3月27日に行った朝日町の田代町長へのインタビューが印象に残るが、朝日町の自立に向けた取り組みについては改めてレポートしたい。



(2009年7月1日 記)